



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第17号

令和6年9月20日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 「学校祭」に向けて

先週の火・水曜日に「第2回復習テスト」を終えた学校では、一気に「学校祭」に向けたさまざまな取組が盛り上がっています。

復習テストが終わった11日(水)の午後には、文化祭で行われる「有志発表」のオーディションが行われ、晴れて本番のステージに立つ8グループ(個人を含む)が決まりました。それぞれの個性を生かした「多様なパフォーマンス」への期待に、今からワクワクが止まりません！

12日(木)の6限には、3年生の子たちが体育祭で使用する「ポンポン」の制作を開始しました。最初は要領が分からず戸惑う子もいましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で互いに教え合うことを通じてクラスがまとまっていく様子に、改めて「学校祭」の意義を実感しました。



12日(木)の授業後には、合唱コンクールの「指揮者オーディション」も行われました。どの参加者も、ブロックのみんなが歌いやすくなるよう意識して細かな指示を入れたり、合唱がより盛り上がるよう表情豊かに指揮をしたりする「熱演」を繰り広げ、レベルの高いオーディションになりました。指揮者に決まった子のがんばりも期待しますが、今回選ばれなかった子たちの「学校祭を盛り上げたい」という熱意が、今後のブロックの活動に生かされていくことも期待し、注目していきたいと思います！！

そんな学校では、いよいよ来週から「学校祭特別日課」となり、これまで3年生が中心となって準備をしてきたブロック全員での「合唱」「ダンス」の練習が始まります。人それぞれ得意・不得意、好き・嫌いなどの多様な事情や思いはあると思いますが、「よいものをつくりたい！」とがんばっている仲間の思いもきちんと大切にしながら、可能な範囲でみんなが協力し合って、ブロック・クラスの「一体



感」を感じる、そしてお互いのことを尊重し合える素敵な「学校祭」にしてほしいと思います。

なお、学校祭の詳細をお知らせする「パンフレット」につきましては、来週中には配信・配付をする予定でいます。保護者の皆様におかれましても、お忙しい中とは思いますが可能なところでぜひ都合をつけていただき、多くの皆様にご来校いただきますようお願いいたします。

♪ 苦しいときは…

学校祭に向けて盛り上がっていく日々の中、人と人が関わり合う活動の中では、さまざまな悩みや葛藤も増えてくるものです。仲間とのトラブルや、解決したい出来事が起きてしまった時には、遠慮なく先生や家の人に相談をしたり、直接話をしにくいときにはタブレットで実施をしている毎日の「心と体のアンケート」などを使って発信したりして、自分の「心身の健康」を保てるよう努めてほしいと思います。

そんな中、先週の初めには、校内の廊下のあちこちに、このような掲示物も用意をしました。「知っている人には言いにくい」「でも一人で抱え込んで黙っているのはつらい」そんな時には、こういったさまざまな方法を活用することも大切です。

学校祭や部活動など、「みんなでがんばろう」としている時に、「何だかがんばれないなあ」と思ってしまう自分を、「こんなの良くない」と責めたり、否定したりする必要はありません。そんな自分もきちんと受け入れて、そんな自分とどうしたら上手く付き合えるかを見つけていくことは、今のみなさんにとってすごく大切な「勉強」です。時には、思い切って心身を休めたり、自分なりの方法で気持ちを切り替えたり、先ほども紹介したように可能な人に相談したりしながら、ありのままの自分と正直に向き合いながら、自分なりのペースで前に進むことを、私たちも全力で応援しています。

